

C O N T E N T S

特集 インタビュー
スポーツこんな話知っていましたか?
BOOKコーナー
朝霞市女性総合相談
いろいろ情報
日本女性会議に参加しました!
「そよかぜ」企画・編集委員より

特集

独立、起業

- そこから見えてきたこと -

今、自分で考え、決断し、チャレンジできる人が求められている。
多様な生き方の選択の中で、新たなビジネスの創造や
地域との関わり等について考える。



独立、起業

- そこから見えてきたこと -

自分が企画を創る時に地域の情報がとても役立っているんです。



春野真徳さんプロフィール

藤折町在住。人材育成コンサルタント。2003年にそれまで勤務していた人材育成会社から独立し、「人材育成ラボ」を設立。1999年4月より2004年3月まで朝霞市男女共同参画社会づくり推進委員会委員、2002年6月より12月まで(仮称)朝霞市男女共同参画推進条例検討委員会委員、2000年より朝霞市保育園保護者会連絡会に参加し、活躍されています。38歳。

なぜ独立、起業したのですか？

「一つは、会社にいると物理的に家との関係がどうしても遠くなるんですよね。子どもと、もうと接点を持ちたいっていうのもあったし、妻との会話も少なく、独立したらもっと家庭と近くなるんじゃないかという思いがありました。もう一つは地域に根ざした活動をしたくて考えていました。企業・団体の人材育成・研修を生業としてきましたので、「学ぶ・成長する」という分野で地域に貢献したいという思いが強かったからです。

そもそも私は独立志向の強い人間で、自分の足で立ちたい、自分で仕事を取り、自分で責任を取る、そういうスタイルの仕事がしたかったですね。三年前に独立して二年間は金銭的に楽ではなかったです。

が、まあ何とかやって来られて、やっぱり今までやってきたこと、仕事で培ったノウハウやスキルは決して無駄にはなりませんし、地域活動で得た経験や情報は、仕事における私の強みにもなっています。

子育てや家事にどのように関わっていますか？

小三の女の子と四歳の男の子がいます。自宅を事務所にしてますから、学校から帰ってきた時に、お帰りの声の掛けられ、それがすごく感動だったんですけど、でも会社に行っていた時に比べ、家にいると、散々仕事できてしまうので、逆に家事・育児の分量は減ったかも知れないですね。ただ、下の子を育てる時は、毎夜のミルクは私があげたんですよ。オムツも替えたり、結構子育てしたというのがあって、妻が、もう独立したんだから、仕事できる時にしときなさいよ」と言ってくれるので、理解してくれているのかな、ありがたいなと思います。

妻は働いていますが、私の仕事も手伝ってもらっているんで、顔を合わせる時間も増えて、会社にいた時よりコミュニケーションは取れているような気がします。彼女に気づか

されることも、相当ありますよ。

現在、企業はどんな人材を求めているんでしょうか？

「自分で考えられる人が欲しい」とよく言われます。つまり、自立した人間が欲しいわけです。自分で考え、決めて、チャレンジできる人。会社が成長していくためには、新しい事業、新しいビジネスを創造していけるような人が欲しいわけです。

でも、会社の現状はあまり変わっていない。企業側の意識も仕組みも不足しているんです。特にもっとたくさんの女性が会社の最前線に



企画・編集委員インタビュー風景

地域活動と男性の関わりについてどう感じていますか？

出てきてもおかしくないのに、まだまだ会社では男女格差が大きいんです。入社は一緒でも男性の方が出世が早く、女性はある一定の所で止まってしまう。よく、「ガラスの天井」と言っています。お給料もすごく差が出るし、男性ばかりが、将来の会社を担っていくための研修を受けられるようになっていきます。女性は、例えば子どもができた時に休みが取れて、復職がきちんとできるのが第一条件。キャリアが途切れないで積み重ねられる会社の仕組みができると思うんです。

やっぱりね、地域活動は積極的に出た方がいいですよ。全然世界が違うから。働き盛りの方々が地域に出て行くのはとても難しいけど、これは、研修の環としてやってもらいます。視野が広がるので、土曜日でも日曜日でも、少しでも、地域の活動に充てると全然違いますよ。

保育園保護者会連絡会に参加しているんですけど、いろんな保護者と子育ての話とかするでしゅ。行政ともやり取りするし、私は地

これからの男性に
応援メッセージをお願いします

ぜひ、地域に少しの時間でもいいから参加してもらって、視野をどんどん広げてほしいと思います。もちろん自分の仕事に役立つし、普段お話ができないような人と話をする、そこからいろんなアイデアも出てくるし、地域に絡んだ仕事ってこれからの意味で創っていくと思いますよ。そういうアイデアを持っている人は少ないですから。

また、現代は「コミュニケーション不足」と言われていますけど、本当はみんな話したがると思います。地域に関わることによって、それが自分の人生の糧になると思います。

これからはいろんな選択肢が広がっていると思います。自分で選択肢を狭めないことが大事です。選択肢は常にいっぱい持っていたいですね。男性も女性も。

関連DATA

女性の活用と企業の業績

(財)21世紀職業財団が実施した調査では、女性の活用が進んでいる企業ほど、企業の業績がよいという結論を出しています。

経営業績	競争相手の企業と比較した 自社の業績に関する評価 (%)					*5年前と 比較した売上 指数
	良い	やや良い	ほぼ同じ	やや悪い	悪い	
女性の活用状況						
女性の能力発揮促進	11.5	19.2	38.5	15.4	3.8	111.5
進んでいる	12.0	19.4	33.1	19.4	12.0	112.9
ある程度進んでいる	4.6	15.8	36.7	27.0	13.3	106.8
あまり進んでいない	2.9	17.6	20.6	20.6	32.4	97.8
進んでいない	25.0	14.3	39.3	7.1	7.1	173.7
5年前と比較した女性管理職比率の変化						
大幅に増えた	12.4	15.5	31.8	25.6	10.1	110.9
やや増えた	3.8	18.7	35.7	22.1	16.2	102.6
現状維持	-	20.0	40.0	25.0	15.0	93.1
やや減った	-	16.7	-	50.0	33.3	83.5
大幅に減った	-	-	-	-	-	-

女性の能力発揮促進のための取組が進んでいると評価している企業ほど自社の業績に関する評価が高くなっています。

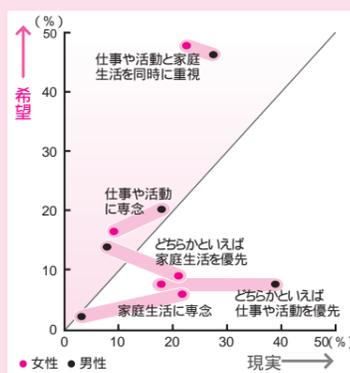
5年前と比較した女性管理職比率が大幅に増えた企業の売上指数は173.7であるのに対し、女性管理職比率が大幅に減った企業の売上指数は83.5で、2倍以上の差があります。

* 売上指数:5年前の売上を100とした場合の現在の売上高。

資料:(財)21世紀職業財団「企業の女性活用と経営業績との関係に関する調査」(平成15年)より

生活で優先することの現実と希望

平成16年7月、平成18年度よりスタートする「朝霞市男女平等推進行動計画」の基礎調査として実施した「朝霞市男女平等推進に関する市民意識調査」の中で、「生活で優先することの現実と希望」について調査したところ次のような結果となりました。



現実では、男性は「仕事や活動」を、女性は「家庭生活」を優先しているという回答の人が多く、希望としては、男女ともに「仕事や活動と家庭生活を同時に重視」を半数近くが挙げています。

資料:朝霞市男女平等に関する市民意識調査報告書(平成16年度)より

地域で活動する男性にインタビュー

自分ではごく普通のサラリーマンだと思っています。子どものことに関わることは親として当然だと思っていますし、何しろ子どもが好きなんです。

小学校のPTA会長に推された時は、「サラリーマンの自分にできるかな。迷惑がかからないかな」と心配しましたが、「できる範囲でやってくればいい」と言われ、思い切って引き受けてよかったと思っています。会社のフレックスタイム制度を利用したり、委員会を土曜日に開くなど周りや家族の協力あつての会長職ですが、子どもたちをはじめ、地域の方々や、他校の皆さんといった仕事以外の人脈も広がったのが嬉しいですね。PTAのお母さんたちの日ごろの頑張りもよく分かりました。

お父さんたちもPTA役員をもちと気軽に引き受けて、「父親の目」を活動に生かしてほしいと願っています。



田口一郎さんプロフィール

岡在住。妻と、中学生・高校生のお嬢さんの4人暮らし。都内の精密機器メーカーに勤める会社員。小学校のPTA会長を2年務め、現在は中学校でPTA会長2年目。43歳。

日本女子初オリンピックメタリスト

「人見 絹枝」

昭和の初め、「女が太股をさらして競争するなどはしたくない」と、スポーツに賭けようとする女性に、偏見や好奇の目が付きまとっていた。

岡山高等女学校に、テニス選手として活躍中の人見絹枝がいた。16歳の時、中等学校競技会の走り幅跳びに出場した。恵まれた体格と抜群の運動神経で4メートル65センチの日本女子最高記録を跳び、これが陸上競技に身を投じる切っ掛けとなった。

1928年(昭和3年)、第9回アマステルダム五輪から、初めて女子の陸上を採用。日本からは21歳の絹枝がただ一人参加した。得意の走り幅跳びは種目になかったが、世界記録を持っていた100メートル走に

出場。しかし、プレッシャーから準決勝で敗退。「このままでは日本に帰れない」と、未経験の800メートルに出場し、予選8位で決勝に進出した。

決勝では驚異のスタートを切り、ラスト200メートル、絹枝は2位に迫った。その瞬間、ライバルのスパイクが膝に当たり順位を落とし、誰の目にもダメかと思われた。だが、絹枝は冷静に建て直し、猛然とラストスタートをかけた。トップとの差は15メートルから2メートルまで縮み、「ゴール、堂々の世界記録。銀メダルを取った。この激闘は、世界の日本女性観を根本的に覆した。

その3年後、絹枝は病に倒れ、24歳という短い生涯を閉じた。しかし、日本女子スポーツの未来のために後進育成の費用を工面したり、短距離走のスタート台や專屬コーチの導入を後世に残した、絹枝の功績は多大である。

BOOK
コーナー

『視覚ミステリーえほん』

全てのページが実物の写真です。この表紙の写真も普通に考えるとおかしい。ありえない物体ですよ。でも、実際の写真なんです！角度を変えるとこんな写真も出来上がるということは...人間も見方を変えれば違って見えるかもしれませんね。



ウォルター・ウィック:著
林田 康一:翻訳
あすなろ書房 1,890円
A4判変型

えっ?と驚く視覚ゲームが満載の一冊。大人にぜひ楽しんでもらいたい写真絵本です。頭を柔らかくしたいあなたには、特におすすめです! 市立図書館の蔵書にもあります。

- ・へっこんでいたはずなのに...
- ・鏡のマジック
- ・宙に浮かぶ物体?
- ・ふしぎな立方体
- ・魚はなんびき?
- ・錯覚三角

内容

悩める女性のために

朝霞市女性総合相談

家族間のもめごとや対人関係の悩み、暴力や虐待、離婚問題など、あなたの悩みや問題などに対して経験豊かな専門家がご相談をお受けします。

- 相談日** 毎週木曜日 (祝・休日にあたる場合は前日)
- 場所** 市役所1階 市民相談室
- 問合せ** 市民生活課男女平等推進係
- 時間** 午前10時～午後3時
- 電話** 048-463-2697(直通)

個人の秘密は守ります。相談は無料です。

いろいろ情報

朝霞市男女平等推進行動計画がまとまりました

平成18年度からスタートする「朝霞市男女平等推進行動計画」(平成18～27年度)の内容がまとまりました。この計画は「朝霞市男女平等推進条例」の基本理念に基づき、平成16年7月に実施した「男女平等に関する市民意識調査」の結果や、それを踏まえた庁内における検討、「朝霞市男女平等推進条例」に基づく市の諮問機関である「朝霞市男女平等推進審議会」の提言などを基に、検討を重ねた結果、取りまとめたものです。

併せて、この行動計画(基本計画)の前期5年間(平成18～22年度)のうち、最初の3年間(平成18～20年度)で取り組む実施計画もまとまりました。

*詳しくは広報あさか4月号と市ホームページに情報を掲載する予定です。



参加した一般公募の市民と市職員

昨年10月7日～8日の2日間、福井県福井市で行われた第22回会議に、朝霞市から6名が参加し、男女共同参画社会等について学びました。

日本女性会議に参加しました!

「そよかぜ」企画・編集委員より

一年間、ありがとうございました。荒木みゆき、佐藤三喜子、篠原操、茅根ひとみ

編集後記

新たな気持ちになれる良き出会いを大切にしていきたいです。(みっこ) 時間がとれなくて皆さんにご迷惑をおかけしました。(りゅち) 新しい出会いやことがらから、学ぶことの多い一年でした。(みみちち) パートナーの大切さを再確認した一年でした。(Pちゃん)